

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	長野県高齢者生活協同組合	代表者	田中夏子	法人・事業所の特徴	「ひとりぼっちにならない、しない」をスローガンに持つ「長野県高齢者生活協同組合」を母体に持ち「地域のより所」を目指して設立しました。通い・訪問・宿泊、それぞれのサービスを馴染みのスタッフが行うことで、利用者に安心感を持ってもらうことが出来ます。また、利用者の都合による通いから訪問、訪問から泊まり等、サービスの変更依頼にも柔軟に対応して家族の負担を軽減します。
事業所名	かがやきの家笹部	管理者	石川真奈美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	4人	人	人	1人	2人	1人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	介護主任が評価者としてOJTが実施できるように外部研修への参加を進める。内部研修だけでなく、少人数でもミーティングを行い介護での気づきを確認しあう。	コロナ禍により外部研修参加は出来なかったが内部研修の必須項目については確実に実施した。職場内の人間関係が良く気づきはノートで申し送るなどで確認しあえた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>具体的な取り組みは分かりにくい。</li> <li>内部研修の実施など質の向上に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>認知症をより深く理解するため関係の外部研修を受講していく。</li> <li>常勤スタッフを中心に事業所の在り方について話し合いの場を持つ。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	職員から労働環境調査を参考に働きやすい職場作りを行っていく。車椅子の方が増え事業所内も狭く机の配置など見直し、スペースの活用を検討する。	毎月の休日を0.5日増やし9.5日となったことや有休の消化を積極的に進めたことなど労働環境の改善に努めた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>以前よりは介護事業所であることが分かりやすくなっている。</li> <li>業所に行くことがなかったので事業所内の工夫等の様子は分からない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>居室の相部屋化（複数利用者の使用）について検討する。</li> <li>事業所内の整備を行い、裏の倉庫を活用する。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	コロナ感染症との関係もあるが、事業所の見学やお試し利用等、取り組んでいく。	利用について問い合わせがあった7名の見学やお試し利用があり4名の利用につながった。ただコロナの影響もあり近隣の方の見学等意図的な取り組みは出来なかった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所が地域に知られるようになってきている。</li> <li>地域の方より「スタッフの皆様は本当に頑張っていると思う」とのお言葉を頂いた。</li> </ul>	地域からの相談件数のUPを目指しお知らせの配布等実施する。地域ボランティアとの関りも再度実施に向けて準備していく。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	コロナ感染症との関係もあるが地域での行事などには積極的に参加していく。利用者の外出なども計画していく。個別ケア会議等も行えるようにしていく。	引き続き長引くコロナの影響もあり、地域行事への参加は来ていない（行事自体が中止の物も多かった）利用者は少人数に分けて花見や初詣など外出を行った。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の行事の中止等も相次いだこともあり地域との関りは弱かったと感じる。</li> <li>少しずつでも利用者の外出を実施出来たことは良い。</li> </ul>	利用者の外出の取組みを更に広げていく。地域の文化展など行事への利用者の参加を計画する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	会議の開催が書面での報告となった場合でも電話での聞き取り等行い情報交換を行う。	コロナとの関係から運営推進会議は書面での報告となった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>会議は無かったが報告書は毎回届けてもらい丁寧にやっていることが分かった。</li> </ul>	2か月に一度の具体的な開催を行い、交流を行うようにする。その中で事例検討についても行っていく。
F. 事業所の防災・災害対策	「非常災害対策書」を使って夜間・夕刻・朝方等、それぞれの場面を想定して訓練を行う。実施の際には運営推進会議メンバーにも呼び掛ける	BCP（事業継続計画）を作成し、地震・洪水発生時の対策について会議を開催し確認しあった。今後、必要な設備の構築や物品の備蓄を進め訓練を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>計画を立てて取り組んでいることは分かるが、実際の訓練の様子や地域との連携などについては分からない。</li> </ul>	BCP（事業継続計画）に基づき今必要な設備の構築や物品の備蓄を進める。大地震や洪水を想定した訓練を実施する。

○外部評価（地域かかわりシート①）は、A～Fまでの6項目となります

○項目Aについては「事業所自己評価」をお読みいただき、適当と思われる箇所に☑を記入ください。わかりにくい場合は、運営推進会議当日に事業者から説明がありますので、空欄のまま持参し、当日記入いただいても結構です。

○B～Fの項目については、当日までに下記チェック項目の適当と思われる箇所に☑を記入し、運営推進会議当日に持参してください。

○当日は、運営推進会議メンバーの記入したチェック箇所を集計しながら、ご意見をいただく予定です。

○下記チェックに基づき、当日お聞きしたい内容は、各項目の「できている点」「できていない点」「次回までの具体的な改善計画」の3点です。

○地域かかわりシートへの皆様のご意見は、事業所の質の向上につながり、皆様の地域にとって必要な拠点となるために大変重要です。事業所を育て、認知症になっても、介護が必要となっても、安心して暮らし続けることができる町をともにつくるために、ご理解、ご協力をお願いします。

A. 事業所自己評価の確認（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画に取り組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 介護主任が評価者として OJT が実施できるように外部研修への参加を進める。内部研修だけでなく、少人数でもミーティングを行い介護での気付きを確認しあう。	5		1
1	少なくとも常勤スタッフ全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？ ※常勤とは週 32 時間以上勤務の職員（正規・嘱託・臨時職の別ではない）	5		
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されて実施していることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	5		
3	前回の改善計画に対して、具体的な取り組みが行われていましたか？	3		2
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	3		2

B. 事業所のしつらえ・環境（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取り組んでいましたか？ 【前回の改善計画】 職員から労働環境調査を参考に働きやすい 職場作りを行っていく。車椅子の方が増え事業所内も狭く机の配置など見直し、スペースの活用を検討する。	6		
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	3		2
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	3		3
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	2		3
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	2		3

C. 事業所と地域のかかわり（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 コロナ感染症との関係もあるが、事業所の見学やお試し利用等、取組んでいく。	3		3
1	職員はあいさつできていますか？	6		
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	6		
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	5		1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	2		3

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか ----- 【前回の改善計画】 コロナ感染症との関係もあるが地域での行事などには積極的に参加していく。利用者の外出なども計画していく。 個別ケア会議等も行えるようにしていく。	4		2
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	2		3
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	1		3
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	2		3
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	3		2

E. 運営推進会議を活かした取組み（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 【前回の改善計画】 会議の開催が書面での報告となった場合でも電話での聞き取り等行い情報交換を行う。	5		
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	4		
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	3		1
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	4		
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	4		

F. 事業所の防災・災害対策（該当部分に✓を入れてください）

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？ ----- 「非常災害対策書」を使って夜間・夕刻・朝方等、それぞれの場面を想定して訓練を行う。 実施の際には運営推進会議メンバーにも呼び掛ける	5		
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	2	1	1
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	1		3
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	1	2	1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	3		1

以上で終了です。ありがとうございました